

第1回金山町町制施行100周年記念事業実行委員会

◎日時：令和5年7月18日（火）

14：00～

◎場所：町民ホール

（出席者）

佐藤 英司 実行委員長（金山町 町長）
矢口卯之助 副実行委員長（区長公民館長連絡協議会 会長）
栗田 保則 副実行委員長（金山町議会 議長）
小野 和俊 副実行委員長（金山町 副町長）
星川 広喜 委員（もがみ北部商工会金山支部 支部長）
岸 新也 委員（金山農業協同組合 代表理事組合長）
近岡 伸 委員（金山町森林組合 代表理事組合長）→ 代理出席 狩谷 健一（常務理事）
安食 秀一 委員（金山町立金山中学校 校長）
藤田 貴敏 委員（金山町立金山小学校 校長）
井上 亘 委員（社会福祉法人陽だまり 本部長）
樋口 勝也 委員（老人クラブ連合会 会長）
大場 洋介 委員（青年団体連絡協議会 会長）
星川美紀子 委員（女性団体連絡協議会 会長）
松田 秀子 委員（女性団体連絡協議会 副会長）
沼澤 道也 委員（金山町議会 副議長）
須藤 信一 委員（金山町 教育長）

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 実行委員長あいさつ

4. 協議

（1）記念事業案の概要について

事務局より資料に沿って説明。

(2) 意見交換

沼澤 道也 委員 (金山町議会 副議長)

実行委員会の中でこれまで町に関わってもらった山大生や芸工大生などの外部の意見も入れてはどうか。町内はもちろん外部的視点も入れるため、関係者の広がりについて期待したい。個々のイベント等が全体では繋がって見えるような事業の連続性がポイントになる。

事務局

個別の事業を進めていく中で、部会において関わってもらおうよう検討する。

井上 亘 委員 (社会福祉法人陽だまり 本部長)

外部のコンサルやイベント会社の力は借りるのか。90周年イベントの際はどうかだったか。

事務局

外部の専門業者にはお願いしていきたいと考えている。90周年の際は11月3日の公民館大会の日に、表彰受賞者会の席上で触れた程度だった。

樋口 勝也 委員 (老人クラブ連合会 会長)

委員はどういった意見を出していけばいいか。出した意見は事業に反映していただけるのか。

事務局

現在、内部での事業案の取りまとめをしている。今後各団体へ示していきたいと考えている。その際にご意見をお願いします。第2回目の実行委員会の際には各団体であがった意見等を踏まえ委員の皆様にはご議論いただきたい。

安食 秀一 委員 (金山町立金山中学校 校長)

令和7年度のポスト記念事業にプレ、記念事業をつなげていくイメージか。それともそれぞれ単発事業か。

事務局

すべて継続することは難しいが継続できる事業はしていきたい。事業ごとの判断となる。

大場 洋介 委員 (青年団体連絡協議会 会長)

記念品、グッズ製作はどういったものを作るのか決まっているのか。事業同様、魅力あるものを。

事務局

まだ決まったものはない。ご意見をいただきながら検討していく。

佐藤 英司 実行委員長（金山町 町長）

第2回目の実行委員会が11月の下旬に予定しているが、今後庁舎内で検討した事業案について各課を通して各団体へお示ししていく。第2回目は具体的な話になってくると思うのでよろしく。

星川 広喜 委員（もがみ北部商工会金山支部 支部長）

これまで先輩たちが作り上げてきた町づくりを振り返る良い機会だと思う。これから示される事業案について商工会としても意見を上げさせていただきたい。成功に向けて協力する。

岸 新也 委員（金山農業協同組合 代表理事組合長）

すばらしい100年事業になるように協力していきたい。農協としても100年前の農業の紹介など考えていきたい。

狩谷 健一 委員（金山町森林組合 常務理事）

当組合も林業関係と協力して様々な研修会や講習会を予定しているので産業課に相談しながら100周年事業に絡めていきたい。

安食 秀一 委員（金山町立金山中学校 校長）

事業概要を見ると子供たちが好きそうな事業や中学生がたくさん参加できそうな事業がある。協力というよりは一緒になってやっていきたいと感じた。芸術分野の部活動も活発になるかなと期待している。

藤田 貴敏 委員（金山町立金山小学校 校長）

地域教育につなげられるいい機会。1～6年生の発達段階に応じて楽しい教育活動が展開できるのではないかなと期待しているので深く関わっていきたい。

樋口 勝也 委員（老人クラブ連合会 会長）

高齢の生きがいと文化の振興に注目していきたい。

大場 洋介 委員（青年団体連絡協議会 会長）

これまで金山町では大イベントを成功させてきた。皆さんの意見を取り入れて、この大イベントについても成功できるよう協力していきたい。

星川 美紀子委員（女性団体連絡協議会 会長）

すばらしい案を練られているなど感じた。年3回の実行委員会の集まりだけでどうこうなる問題ではないと思うのでその間に行政から依頼があれば協力するので、全世代が参加できるような事業を期待する。記念グッズについても町の商品化につながるものを検討していただきたい。

松田 秀子 委員（女性団体連絡協議会 副会長）

大きな事業に参加させていただく機会をもらって恐縮だが、女性団体にできることは微力だが全面的に

協力していきたい。

沼澤 道也 委員（金山町議会 副議長）

100周年は「転換期」でもある。農業、商工、様々な分野の転換期として捉え事業を進めていってもらいたい。

須藤 信一 委員（金山町 教育長）

100周年の事業に携われる機会を喜んでいる。そういった思いを町民や町の子どもたちにも味わってもらいたい。そのためには町民が主体的に関われるような事業を展開していくことが重要。

矢口 卯之助 副実行委員長（区長公民館長連絡協議会 会長）

100周年事業に携われることが幸せに感じる。大成功できるよう頑張っていきたい。

栗田 保則 副実行委員長（金山町議会 議長）

これまでの町づくりに感謝の意をもって、これからの町づくりに向けて皆さんと協力しながら事業を頑張っていきたい。

小野 和俊 副実行委員長（金山町 副町長）

巡り合わせでこの事業に携わることが出来て、身の引き締まる思いと成功しなければいけないという思い。時間があるようあまりでないと思う。皆さんにはいろいろお願いをする場面が出てくると思うのでその際はよろしく。

5. その他

6. 閉会

閉会 15:00

事務局 総務課長 丹 敏雅
課長補佐 渡辺麻里子
係 長 齊藤真奈美

（議事録） 笹原 拓史